

2025年5月29日

報道関係者各位

株式会社ランディックス

都内の一等地 港区麻布エリアにおける大型土地取得のお知らせ

ランディックスグループ（本社：東京都目黒区、代表取締役 岡田和也、以下「当社」）は、都内有数の一等地である港区麻布エリアにおいて、大型の販売用不動産を取得したためお知らせいたします。

【本物件のコンセプトと特徴】

当社は、主に東京の城南エリア*1で住宅用地の売買を行っており、その多くが高額帯の不動産となっています。今回の取得物件は、都心にありながら豊かな自然が享受できる高級住宅地「港区麻布エリア」の物件です。大使館やインターナショナルスクールが点在し、日本人の富裕層顧客だけでなくインバウンドのお客様からのニーズも見込まれるエリアです。

本物件は北西側と南西側に接道する角地の物件であり、開放感や建築自由度の高さが魅力の物件であります。土地本体が持つ資産性のみならず、有栖川宮記念公園などの豊かな自然や都心へのアクセス性・利便性が両立する特に資産性の高い物件です。

*1 城南エリアとは世田谷区・目黒区・大田区・渋谷区・品川区・港区の6区を指します。

【当社業績への影響】

所在地：東京都港区元麻布

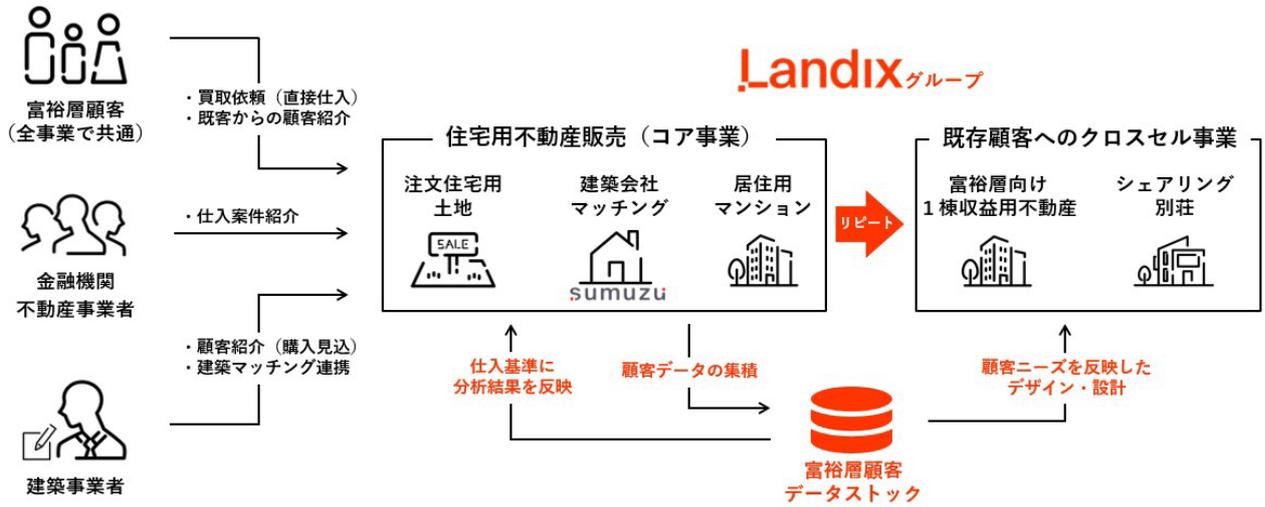
物件内容：住宅用地

敷地面積：135.74㎡

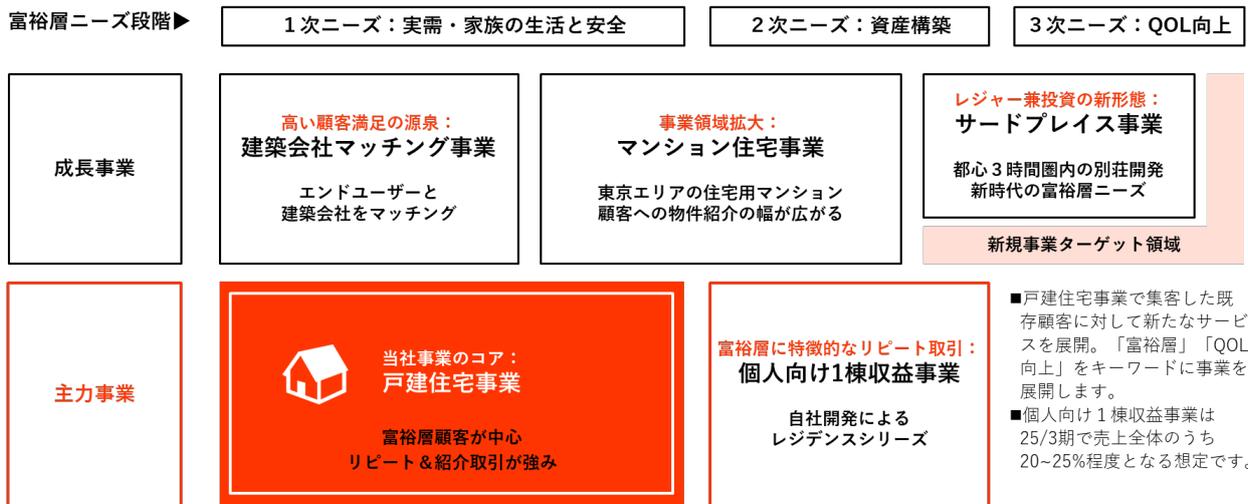
本開示情報は現段階の想定であり、経済環境や販売状況等により引き渡し時期や物件内容が上記見込と変更となる可能性があります。なお、本物件は2026年3月期の引き渡しを見込んでおり、本物件の取得および販売による影響は東京証券取引所が定める義務開示基準には該当していません。

【当社事業の紹介】

当社は「唯一無二の豊かさを創造する」を企業理念として東京の城南エリアを中心に、富裕層顧客を対象に不動産関連事業を行っており、富裕層ニーズに対する一貫対応を主軸として事業展開を行っています。



創業以来、顧客データを基にお客様ニーズに対応した事業展開を行っており、独自の建築会社マッチング、個人向け1棟収益用不動産、近年ではシェアリング別荘の開発（サードプレイス事業）に取り組んでいます。2024年には、独自の自動追客システムを持つ不動産テック企業であるリンネ株式会社（マンション領域の不動産仲介業が主力）を完全子会社化しており、住宅用不動産販売をコア事業として、収益用不動産開発による富裕層の投資ニーズ、さらにはシェアリング別荘開発によるQOL向上ニーズに対応する形で事業領域を広げています。



中期ビジョンとして「東京エリアにおける富裕層向け不動産のトッププレイヤー」を掲げており、毎年売上・利益の20%増を中期の数値目標としています。富裕層ビジネスを行う上で当社は、特に顧客満足度を重視しております。例年当社で住宅を購入する成約顧客のうち30%以上が紹介またはリピート取引によるお客様という実績となっており、今後も不動産を通じてお客様の人生に寄り添い続ける企業でありたいと考えています。

<企業情報>

企業理念	唯一無二の豊かさを創造する
社名	株式会社ランディックス
本社所在地	東京都目黒区下目黒 1-2-14 Landix目黒ビル
事業拠点	目黒本社 桜新町支店 自由が丘支店
設立年	2001年
連結社員数	123名（2025年3月末時点、役員含む）
業種	不動産業
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・不動産売買事業・不動産仲介事業・建築会社マッチング事業・サードプレイス別荘開発事業

ランディックスグループは、東京の富裕層顧客を対象に不動産領域のワンストップサービスを展開しています。主力事業は戸建住宅の販売であり、全成約の30%程度が紹介・リピート取引によって構成されています。注文住宅希望者への建築会社マッチングや、リピート取引となるお客様に向けた1棟収益用不動産の販売、さらなる豊かな生活のための別荘開発など、時代と共に変化するお客様のニーズに応え、「パーソナライズ」をキーワードに事業展開を行っています。

[ホームページ]

<https://landix.jp/>

[sumuzuサイト]

<https://sumu-z.jp/>

[不動産情報ポータルサイト]

<https://portal-landix.jp/>

[当社中国語版ランディングページ]

<https://portal-landix.jp/cn/>

[サードプレイス別荘事業サイト]

<https://the-third-place.jp/mtfuji/>

お問い合わせ：コーポレート部門管掌取締役 松村隆平 (matsumura@landix.jp)